

下北地区統合校に関する説明会 概要

- 1 日時 令和7年5月18日（日） 11：00～12：30
- 2 場所 むつ市役所大会議室
- 3 参加者 67名

4 説明内容

（県教育委員会）

「1 概要」について、下北地区統合校の目指す姿は、青森県立高等学校教育改革推進計画第2期実施計画において、

- ・ 総合学科と工業科の併置校として、生徒の興味・関心等に応じた多様な学習により、幅広い知識や視野を身に付けさせ、生徒一人一人の進路志望を実現する高校
- ・ 生徒のニーズや地域の特性を踏まえた系列を設置し、生徒の個性や能力を伸ばさせ、豊かな社会の実現に寄与する高校
- ・ ものづくりに関する実践的な学習を通して専門的な知識・技術を身に付けさせ、地域産業の発展に貢献する高校

と示している。

「（2）学校構成」について、総合学科3学級及び工業科2学級で構成することとしている。なお、総合学科の中に設けられ、生徒の科目選択の参考になるように関連する科目をまとめた系列については、大湊高校の系列（人文科学／自然科学／健康福祉／情報ビジネス）を基本としつつ、開設準備委員会の意見を踏まえながら検討する。

「2 統合校の開校に向けた現状等」、「（1）①改築工事の入札結果」について、2月26日に、統合校管理・教室棟改築工事に係る入札実施を公告したところであるが、3月13日、公告に対し、参加希望者がなかったため入札中止となった。なお、主な理由として、配置技術者の確保が困難であったことが考えられる。

「②入札結果を踏まえた対応」、「ア 開校時期」について、入札が中止となったことにより、改築工事の工期等を総合的に勘案すると令和9年4月までに完成しない状況にある。このため、統合校を志望する生徒の進路を実現する環境を整えることを最優先とし、統合校において予定される教育活動に対応できるよう、むつ工業高校の既存校舎の一部を改修した上で、令和9年4月に開校することとしたいと考えている。

「イ 今後の施設整備の方向性」について、今回の入札中止の結果を踏まえ、生徒の学習環境の充実を着実に進められるよう、様々な観点から整備方針を検討中である。方針が定まり次第、改めて説明の場を設ける予定としている。

「(2) 下北地区統合校開設準備委員会」について、第1回は、5月19日、むつ工業高校において開催し、全5回を予定している。この開設準備委員会は、下北地区統合校の開設に必要な準備を進めるため設置するもので、統合対象校の外郭団体関係者、むつ市教育委員会教育長、産業関係者等の委員により、統合校の名称、目指す人財像、特色ある教育活動等について協議・検討するもの。1回目の主な検討内容は、

- ・ 統合校の目指す人財像・学校像
- ・ 校名案の決定方法
- ・ 制服の方向性

としている。

「3 その他」として、資料の下段に2次元コードを掲載している。県教育委員会のウェブページに、今回の説明会や開設準備委員会等の情報を掲載している。随時情報を更新することとしているため、ぜひ御覧いただきたい。

5 質疑等の内容

○ 本日、説明会を開催していただいたことに対して感謝申し上げる。しかし、令和7年3月に統合校管理・教室棟改築工事に係る入札が中止となってから本日の説明会まで2か月空いており、もっと早く地域に対し説明する必要があったと考えるが、本日の開催となった理由は何か。

→ (県教育委員会) 説明会の開催に向けて必要な準備を進めていた。整備方針が決定してからの開催を考えていたが、現在の状況について伝えてほしいという要請があったことも踏まえ、本日開催することとなったもの。

○ 本日の施設整備の方向性の説明だけでは、今後の校舎の整備方針が分からない。具体的な整備方針を示してほしい。

→ (県教育委員会) 生徒の学習環境の充実を図るためには、教育課程等のソフト面と施設整備等のハード面の両面から進めていくことが必要であると考えている。

このため、今回の入札結果を踏まえ、既存の改築計画のまま再度の入札を行ったとしても入札が成立する保証はなく、事業スケジュールの大幅な遅延により、統合校の教育活動への影響等が懸念される。

このため、着実に施設整備を進められるよう、新たな改築計画の検討に加え、既存校舎のリニューアル改修を軸とした施設整備も視野に入れながら、工事期間中における教育活動への影響、事業全体スケジュールなど様々な角度からより良い施設整備の方向性について検討しているもの。

○ 新校舎が完成しているかどうかは、中学生の進路選択にとって重要なことである。校舎の整備方針のスケジュールはどのようになっているのか。

→（県教育委員会）先ほどの説明のとおり、現在も検討中であり、事業スケジュールについても現段階で具体的に示すことはできないが、可能な限り早期に示したいと考えている。

○ 統合校開校まで2年を切っている。こどもたちのことを考えると、明日にでも整備の方向性を決定しなければならない。

○ 校舎の整備については、地域の意見をしっかりと反映しながら早急に進めてほしいと考えているが、整備方針の決定前に再度説明会は開催するのか。

→（県教育委員会）整備方針が決定してから開催することを想定している。

○ 令和9年4月の新校舎完成が間に合わない。また、むつ工業高校の既存校舎のリニューアル改修であっても相当な期間を要するものだと思う。第2期実施計画での統合を白紙撤回し、次期計画で検討しなおした方がよいのではないか。

→（県教育委員会）下北地区では、中学校卒業予定者数の更なる減少により2学級の削減が必要であり、学級減で対応した場合、高校の更なる小規模化が進むことから、充実した教育環境を整備するためにも統合が必要と判断したもの。

また、総合学科と工業科の併置による学習効果が得られると考えられることから両校を統合することとしたもの。

○ 下北地区統合校については、これまでも紆余曲折があった。第2期実施計画策定時においても、住民説明会（地区懇談会）や市からの要望、パブリックコメント等で様々な意見があった中においても、当初の県教育委員会の案で計画が策定された。当時も同じような意見が挙げられたが、意見を聞くだけで、反映されなかった。今後も本日と同様の説明会を開催することになると思うが、ガス抜きとして扱わないようにしてほしい。

○ 入札中止はやむを得ないが、白紙撤回を含め、様々な対応策が考えられた中で、既存のむつ工業高校を改修した上で使用するといった一番簡単な方法に落ち着いている。他に方法があると思うが、どのようなことを検討したのか。

→（県教育委員会）入札中止を受けて、開校時期を計画どおりとするか、先送りするのかについても検討した。その結果、統合校を志望する生徒の進路を実現する環境を整えることを最優先とし、統合校において予定される教育活動に対応できるよう、

むつ工業高校の既存校舎の一部を改修した上で、令和9年4月に開校することとしたいと考えた。

- むつ工業高校の既存校舎を改修するということで、改修を行っている際に在籍しているむつ工業高校や統合校の生徒の教育活動に少なからず影響を与えると思うが、その点についてどのように考えているのか。

→（県教育委員会）生徒の教育活動に最大限配慮していく。

- 本日の説明が、これまでの報道ベースの内容であることに不満と憤りを持っている。母校がなくなることを受け入れた地域の方々や、新築を期待していたこどもたちの思いを踏みにじっている形になっている。これまでの説明を聞いても他人事のように捉えられる。もっとこどもたちのことを考えてほしい。

- 入札中止となったことについての主な理由として配置技術者の確保が困難とのことであったが、昨今の全国状況を勘案すると予測できたことである。入札するに当たって工夫したことはあるか。また、最近の県の発注で入札中止となる事案はなかったのか。

→（県財務部）建築工事で入札中止となる状況は発生していなかった。入札資料を閲覧した業者に意見を伺ったところ、現地に置く法律で定められた配置技術者の確保が難しいため、入札に参加しなかったとのことである。

- 再度入札しても、応札業者がいらないと思う。そのような中で、県として入札制度を変更することはできるのか。また、検討しているのか。

→（県財務部）同様の要件で再度入札をすることは、行政の入札として考えていない。また、参加要件だけを見直すことは、行政機関の入札執行における公平公正確保の観点から行うべきではないと考えている。

仮に、改めて入札する場合は、工期などを含めて事業計画を見直す必要があるということで、県教育委員会とも共通認識を図っている。

- ますます不安になった。新校舎は、現在の中学校2年生だけではなく、中学校1年生が入学する時も完成していない状況になると思う。どうにかしてもらわないと話が進まないと思うので、十分検討してほしい。

- むつ工業高校の既存校舎の一部改修で対応することで、学科構成に影響はないのか。

→（県教育委員会）統合校の学科構成については、総合学科と工業科とすることで、第２期実施計画で決定しているところ。

教育内容については、今年度開催する開設準備委員会での協議結果を踏まえ、来年度の開設準備室で決定していく。

○ 統合校を志望する生徒の進路志望を実現する環境を整えることを最優先したと説明しているが、既に影響が出ている。新校舎でなければいやだと言っていることももいる。

○ 本来改築することとしているため、中途半端な改修では子どもたちに良くない。改修工事期間は、子どもたちの教育活動に影響が出ると思う。今後のスケジュールはどうなっているのか。

→（県教育委員会）現段階で、スケジュールを示すことはできないが、できる限り早期に対応できるように検討しているところ。生徒への影響を第一に考え、検討をしている。

○ 令和９年４月の開校に間に合わせるためには、いつ頃までに発注して、工事を開始するといったことは答えられないか。

→（県教育委員会）事業全体のスケジュールを精査しているところであり、現段階では答えられないが、方向性が決定した際には、プロセスや比較検討の結果も示しながら説明していく。

○ 次回以降の説明会では具体的な説明を望む。

○ 説明会を開催していただいたことは感謝している。今回の説明会に保護者や学校関係者は参加していると思うが、統合校に入学する中学校２年生やその保護者などの当事者全員が説明を聞ける機会はなかなか無いと思う。中学生や保護者に直接説明する機会を考えているのか。あるいは、２次元コードからウェブページを見てくださいとするだけなのか。むつ市教育委員会から学校に発信してもらうのか。どのような方法を考えているのか。

将来を見据えて中学校でも進路指導をしているので、保護者や中学生は不安がっている。

→（県教育委員会）今回の説明会開催に当たり、むつ市及びむつ市教育委員会の協力を得て周知したところであり、今後の周知方法についても相談させていただきたい。

また、中学生や保護者全員への周知方法としては、チラシの配布なども考えられ

る。

直接、中学生や保護者に届くようにするための情報発信については、今後検討していきたい。

- 統合校の目指す姿は非常に良いことであると思う。激しく時代が変化する中、むつ工業高校では電子科がなくなり、コンピュータについて学べない。また、総合学科の系列について、人文や自然、健康福祉とあるが、中学生にとってはどのようなことをやっているのか分からないのではないかと。中学生が分かりやすい学科・系列とする必要がある。

また、これからの時代のこどもたちが、国際交流に対応できる人財となるように育成してほしい。

- (県教育委員会) 情報等は教科・科目の中で学ぶことができる。また、国際交流については、現在大湊高校で実施していることから、このような学びの引継ぎも含め、教育内容等について、開設準備委員会で検討していく。

- 高校は県教育委員会の管轄であるため、どのような力が必要か県としてしっかり考えてほしい。県教育委員会の指導で学校は変わっていく。工業科であっても語学力の育成は必要であるとする。

今後は数合わせの統合ではなく、一人一人のこどもたちが夢を叶えられる学校など目的を持った学校づくりをしてほしい。

- 大湊高校は大学進学を目指す生徒もいるし、むつ工業高校は就職を目指す生徒もいる。この両校を統合することで大学進学を目指す生徒と就職を目指す生徒の両方が統合校に在籍することとなるが、それぞれを指導する先生をきちんと配置することができるのか。

- (県教育委員会) 適正に教員を配置していく。

- 大湊高校とむつ工業高校は、それぞれ違うカラーを持った学校である。県教育委員会では、両校を統合することとしているが、地域としてはそれぞれ別に設置してほしいと思っている。

- むつ工業高校の既存校舎を活用して開校することで、統合校がむつ工業高校の既存校舎をそのまま使い続けるといった学校の姿になると思う。また、市民とのやりとりは全て事後報告である。

新しい校舎をむつ工業高校の敷地内に建てるということをこどもたちと約束

したのだから、計画を白紙にいったん戻すのが良いと思う。

- こどものためではなく、大人の都合で話が進んでいる。この場の説明を聞いて、中学校2年生に対し、どのように説明すれば良いのか分からない。夢や希望を持てなかったと思う。

中学校2年生が高校3年生になるまでには新しい校舎に入れるものと思っている。また、これまで、新校舎を建設すると説明していることから、新校舎に希望を持っているこどもたちもいる。スケジュールはどうなっているのか。

- （県教育委員会）今回の入札結果を踏まえ、既存の改築計画のまま再度の入札を行ったとしても入札が成立する保証はなく、事業スケジュールの大幅な遅延により、統合校の教育活動に影響等が懸念される。

このため、新たな改築計画の検討に加え、既存校舎のリニューアル改修を軸とした施設整備も視野に入れながら検討しているもの。

- これまで計画の白紙撤回を2名の方が要望しているが、私も同様の意見である。計画が決定してからは、仕方が無いことということで、地域で協力していこうと思っていた。ただ、先ほどからの説明を聞いていると、学校運営上仕方の無いことだと聞こえる。その後に、取って付けたように学びの充実やこどものためにとっている。

将来的には必要な統合であると思うが、現段階で、統合校の校舎について、白紙の状況であり、とりあえず学校運営上必要なので統合させてもらいますと聞こえる。

学校の運営や事業のマネジメントの観点から見ても統合は失敗である。今日参加している県の職員がすべての責任をとることもできないと思うし、責任ある説明ができるとは思っていない。是非、この事業を進める上で、最終的な権限のある人達の説明を求めたい。こどもたちの将来を不安視している保護者もいる。地域の声を聞くのであれば、持ち帰っていただいて、上と検討してほしい。

- （県教育委員会）意見については持ち帰って、検討材料とさせていただきたい。

- 新校舎は、ユニバーサルデザインの学校ということで期待していた。リフォームをするのであれば、長期に使用できるものを作ってほしいと思っている。安易なリフォームはしてほしくない。新築でも改修でも、障がいを持っているこどもでも通えるようにしてほしい。

- （県教育委員会）改修・改築のいずれであってもしっかりと対応していく。

- 統合校ができることに期待を持っていたが、総合学科3学級、工業科2学級と、

むつ工業高校と大湊高校をただ合わせただけのように思える。実際何を学べるのかはいつ頃分かるのか。

→（県教育委員会）統合校の学びについては、今年度の開設準備委員会で検討してもらい、具体的教育課程等については、令和８年度に設置する開設準備室で決定する。

○ 下北地区には通級を行っている高校がない。不登校や通級の相談をすると北斗高校を勧められる。通級指導のある高校を設置してほしい。

○ 今回入札中止となり、改修により統合することでは納得できない。計画がスタートの段階でつまづいたのであれば、本来、白紙に戻す必要があると考える。

先ほど、むつ工業高校の既存校舎を改修して、統合校が既存校舎をそのまま使い続けるといった学校の姿になると思うといった発言があったが、私もそのようになると思っている。

今後は、対策や方法をむつ市民に説明して、同意を得てから進めるべきだと思う。

○ 新校舎を作るといった目標があったのに、入札中止となったから、むつ工業高校の既存校舎を改修して使用しますといった対応では、むつ市民は納得しない。もっと地域の声を引き上げてほしい。こどもたちが新しい校舎で学べるイメージをしてほしい。こどもたちは新校舎を希望していたと思う。それを奪わないでほしい。下北地区にとって何が最善なのか。全員納得して、こどもたちにとって何がベストなのか、持ち帰って検討してほしい。統合の白紙撤回をしてほしい。

また、今後の説明会はガス抜きではなく、市民の声を聞いてほしい。

○ 検討の中で、新校舎を建設しないという選択肢はないということで良いか。

→（県教育委員会）今回の入札結果を踏まえ、着実に施設整備を進められるよう、新たな改築計画の検討に加え、既存校舎のリニューアル改修を軸とした施設整備も視野に入れながら検討している。

○ 新校舎ができないといったことはないようにしてほしい。